

公認ガイディングライオン・スキルアップトークセッション レポート

日時：2016年4月20日 16:30~17:30

場所：キャビネット事務局 大会議室

出席者 3R1Z 東京2020LC 初代会長 L牧野剛嗣
ガイディングライオン 東京新橋LC L浅井洋一郎
10R1Z 東京表参道LC 会長 L飯田容子
東京表参道LC 初代会長 L松浦辰吉
ガイディングライオン 東京キングLC L本田慎一郎
13R2Z 東京湧水LC 初代会長 L長谷山勝美
ガイディングライオン 東京田無LC L鶴田 實

① クラブ結成とガイディングライオン着任の経緯について

L本田 私のクラブは2012年結成のため麹町LC橘Lと共に、親クラブの初代会長として表参道LCのガイディングを担当した。公認Gの研修は受けていないが、キングLCの親クラブである東京LCのL池崎元地区ガバナーにガイディングを頂いたこともあり、役割は理解していた。

L松浦 表参道LCは、音楽とダンスで障がい者と家族を元気づけ、小さくとも本物の奉仕を行うために、約1年間の準備期間を経て結成された。

L飯田 松浦L以外の25名は全員ライオンズ未経験者だったので、資料の作成方法や役割分担など事細かいアドバイスは本当に有り難く思っている。クラブを導いて頂いたガイディングライオンへの感謝は尽きない。

L浅井 当時クラブ会長と地区役員を務めており、会員増強による貢献を模索していたところ、ライオンズの予備知識は無いが、人望篤く新クラブ結成に前向きな牧野Lを紹介頂いた。公認Gの資格を取得しており幹事団に所属していたため直接ガバナーに承認を得て、2020LCの結成までの約半年間のサポート並びに結成後のガイディングを担当した。

L牧野 チャーターメンバーは全員私がスポンサーだが、私自身がライオンズ未経験者だった。多くの経営者仲間が既に何らかの奉仕に関わっている中で、仲間を誘う際に「何故ライオンズなのか？」を伝える際に、ガイディングライオンの協力を得た。

L鶴田 自クラブメンバーである塩月ガバナー（当時）より指名を受けてガイディングを担当した。準備期間が無い中、結成式を国際会長公式訪問に間に合わせるためにキャビネットの協力を得ながら奔走した。

L長谷山 塩月ガバナーに所属クラブの相談を持ちかけた際に新クラブ結成を勧められたことが契機となり、奉仕への思いも新たに仲間を募り、湧水LCを結成した。

② 結成後のクラブ運営とガイディングライオンの関わりについて

Ｌ浅井 新クラブ結成の際にはライオンズメンバーが所属するのが一般的であるが、2020LCの場合、全員がノンライオンでのスタートだったため、例会の進め方をはじめとした全ての事項に於ける基本からのガイディングが求められた。

Ｌ牧野 大半が多忙な現役メンバーのため、月2回の例会のうち1回はインターネット例会にしている。ガイディングライオンである浅井Ｌには準会員になって頂き、現在も二人三脚でクラブ運営のアドバイスを頂いている。

Ｌ本田 表参道LCの場合は初代会長がライオンズをよく知る松浦Ｌだったので、結成後の運営はスムーズに進んだが、自クラブ例会に加えてガイディングを行うクラブの例会にも出席する必要があるため、2年間に渡るガイディング期間中は、かなりの時間をライオンズ活動に費やすことになった。

Ｌ松浦 誰もが役職を担うことができる環境を整えるために、ライオンズ経験者で初代会長の私ではなく、ライオンズのルールに則ったガイディングライオンの指示に100%従う方針でクラブのルールを創り上げた。2名のガイディングライオンに深く感謝している。

Ｌ飯田 クラブの方針が「障がい者支援」で明確なため、メンバーが一致団結して年2回のアクティビティに取り組んでいる。また、ガイディングライオンから指導を頂きながら、ライオンズの勉強のためにキャビネットからの様々な情報をメンバーと共有している。

Ｌ長谷山 体制が整う結成式直前まで新クラブの情報を全て開示できない特別な事情があった。そのような中で、キャビネットやゾーン内クラブとのデリケートな調整にガイディングライオンの協力を得た。

③ ガイディングライオンの大切な役割とは

Ｌ浅井 友愛の精神を大切に、地区エクステンション委員会など関連組織との連携もサポートしながら、向上心を持ってガイディングを行うと良い。また、ガイディングライオンは国際協会に2年間で8回のレポートと最終報告書を提出する必要がある。

Ｌ本田 クラブ運営に於いて会計はポイントとなる。会計処理は全員にガラス張りとして、随時協議の上で決済するように導くことはガイディングの重要な役割だ。

Ｌ鶴田 公認ガイディングライオン研修会ではガイディングの基礎を教わるが、教科書通りにはいかない場面も発生する。ガイディングを行うには臨機応変な対応が求められる。

Ｌ牧野 ノンライオンにとってクラブ結成はわからない事だらけ。エクステンション委員会との協議をはじめ、全てがガイディングライオンに委ねられるため、新クラブの結成時の評価はガイディングライオンの力量次第だと思う。新クラブ結成時の事例を集約して共有することで、今後の新クラブとガイディングを担当するメンバーに役立つのではないか。

④ 今後結成するクラブへのアドバイス

Ｌ松浦 クラブを創る前段階が最も重要。先ずライオンズクラブの根本理念をしっかりと理解した上で、何故クラブを創るのかを明確化すること。

Ｌ本田 ガイディングを担当頂いたＬ池崎元地区ガバナーからライオンズクラブの歴史を教わって理解を深めることができた。また、ライオンズ必携には役に立つ情報が網羅されている。

Ｌ牧野 「会員増強とライオンズの活性化」がクラブ結成の起点だったが、ノンライオンにコンセプトを伝えるに良かった。結成時には具体的なアクティビティを決定した方が良い。

⑤ フリートーク

Ｌ本田 ガイディングとは「導き」を意味する。従って、その役割には人格が求められるし責任は重い。今後ガイディングライオンが名誉な役割であると認知されると良い。

Ｌ牧野 新クラブのメンバーからの様々な質問や要望に応えるためには、ライオンズの知識はもとより、ライオンズクラブ内に幅広い人的ネットワークを有するメンバーがガイディングを担当する事が望ましい。

Ｌ浅井 私のクラブは東京で２番目に古く、新しいクラブとはタイプが全く異なるので、とても勉強になる。例えば２０２０ＬＣから「インターネットで募金したらどうか？」と質問があり、地区で前例が無いためシカゴ国際本部に問い合わせたところ、法律部長からＯＫの回答があった。このように、ガイディングには苦勞も伴うが、別の視点から新たな発見も多く、楽しい役割と言える。

Ｌ松浦 私達のクラブではガイディングライオンがライオンズの悪口を言ったらその場で帰って頂くと決めていたが、２年間ライオンズの悪口を１度も聞くことは無かった。ライオンズを信じて入会した新しいメンバーを育てるには大切なルールであり、二人のガイディングライオンに感謝している。

Ｌ飯田 ガイディングライオンから全てを学ばせて頂いた。クラブ結成にはメンバーの篤い思い入れがあるが、いつも親身になってメンバーの気持ちに応えて頂き、心から有り難く思っている。ガイディングライオンと私達クラブメンバーは強い絆で結ばれている。

Ｌ鶴田 ライオン歴が長くなると過去の経験に囚われやすく、同様にクラブ運営に於いても、過去の継続が活性化を阻む要因となる場合がある。私は公認ガイディングライオンとして今後も勉強しながら、自クラブの活性化にも関わっていきたい。

Ｌ長谷山 新クラブ結成には相応の準備期間が必要だと感じている。湧水ＬＣの初代会長を６月末まで務めて会長をパトタッチするが、来期以降も会員増強に力を入れると共に、薬物乱用防止などの青少年健全育成に取り組んでいく。